

第46回 酒田シーサイドライオンズクラブ旗争奪スポーツ少年団サッカー大会 要項

主催	酒田シーサイドライオンズクラブ
後援	酒田ライオンズクラブ 余目ライオンズクラブ 酒田みなとライオンズクラブ 酒田山王ライオンズクラブ 酒田さわやかライオンズクラブ
主管	酒田地区サッカー協会4種委員会
期日	令和元年9月21日(土) 予選リーグ 平成元年9月22日(日) 決勝トーナメント
会場	庄内空港緩衝緑地運動広場(2面)
参加資格	スポーツ傷害保険等に加入し、主催者が参加を認めたチーム。
競技規則	①8人制とする。チームの競技者のうち1人はゴールキーパーとする ②(公財)日本サッカー協会8人制サッカー競技規則による。 ③コートのおおきさは、横50M×縦68Mを基本とする。 ④選手は20名以内とし交代人数は制限しない。交代して退いた競技者が交代要員となつて再び出場できる自由な交替とする。交代の回数には制限されない。 交代の手続きは、公益財団法人日本サッカー協会8人制サッカー競技規則による。 ⑤ゴールキーパーは事前に主審に通告した上で試合の中に交代することができる。 ⑥試合中、不慮の事故等で選手が6名以下になつた場合は試合中止(棄権/0-3)とする。 ⑦試合球は(公財)日本サッカー協会公認4号球(検定球)を使用し各チーム持寄りとする。 ⑧ベンチにはエントリメンバーの他3名とし、ベンチサイドでの応援は禁止する。 ⑨ベンチは、ベンチ側からコートに向かつて左側が若い番号とする。 ⑩審判員は各チーム帯同審判員制とし、8人制競技規則での審判員数(主審/補助審判)とする。
警告・退場	①競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されるまで試合を停止する。 ②本大会で退場を命じられた競技者は、本大会の次の1試合を出場停止とする。 ③本大会の異なる試合において警告を2回受けた競技者は、本大会の次の1試合を出場停止とする。累積の警告は決勝日程に持ち越すものとする。 ④その他詳細については規律委員会において審議し当該チーム及び選手に通知する。
競技者のユニフォーム	①公益財団法人日本サッカー協会「ユニフォーム規定」に従つた正副のユニフォームを用意すること。 ②背番号は1番から99番とする。 ③フィールドプレーヤーがゴールキーパーを行う場合は、セカンドユニフォームかゴールキーパーのセカンドユニフォームを着用すること。(ビブスは不可)
競技方法	①参加チームをA～Dの4ブロックに分け、各ブロックごとに予選リーグ戦を行う。 ②予選リーグ各ブロックの第1位及び第2位で決勝トーナメントを行う。 ③試合時間は、予選リーグ・決勝トーナメントともに40分とし、ハーフタイムのインターバルは5分間とする。(※トーナメント敗者交流戦の試合時間は30分とする) ④リーグ戦のブロック順位決定は次による。 勝点(勝=3、敗=0、引分=1)・得失点差・総得点差・当該チーム勝者の順とし、それでも決しない場合はPK方式で決定する。但し4チームブロックにおいて、総当たり戦を実施しない場合で勝点と同じになつた場合は、得失点差の前に当該対戦チーム勝者を優先する。また、当該ブロックにおいて、3チーム以上が全て同じ成績になつた場合は、巴戦でのPK戦とし続けて2勝したチームが勝ち抜けるものとする。 ⑤トーナメント戦において勝敗が決しない場合はPK方式(3人/4人制)で決定する。
表彰その他	上位4チームとする。(優勝・準優勝・第三位・第四位) ①本大会の実施に関し、要項に定めのない事項や、本大会参加中、試合中に限らず、選手に対する著しい言動や行動があつた場合は、本部にて事実確認し何らかの処分対象とする。 ②大会における怪我、事故等の責任は、各チームに帰するものとする。 ③監督会議を競技開始前(21日;午前8時00分・22日;午前8時15分)に行います。 ④帯同審判制で行いますので各チーム帯同審判の準備(有資格者)をお願いします。 ⑤予選敗戦の場合も決勝日程への各チーム関係者の運営(審判選等)協力をお願いします。 ⑥出場各チームとも「公共施設使用(駐車場使用含)に際してのマナーを遵守」すること。

開会式(21日/午前8時15分)

- 開式の辞
- 会長挨拶(ライオンズクラブ)
- 優勝旗返還(前年度優勝:若浜)
- 選手宣誓(平田スポーツ少年団)
- 競技上の注意(審判委員会)
- 閉式の辞

閉会式(22日/競技終了次第)

- 開式の辞
- 成績発表(4種委員会)
- 表彰(ライオンズクラブ)
- 会長挨拶(ライオンズクラブ)
- 大会講評(4種委員会)
- 閉式の辞